

こんにちはみなさん、中村です。お元気でご活躍のことと思います。それにしても毎日、暑いですね。さて、世の中の進歩・発展に応じて行政書士業務のやり方も変化して行かなければならない時代です。遅ればせながら、8月1日から行政書士法人制度が創設されます。これにより得意分野が広がりさらに皆様に満足のおくサービスが提供出来るようになってまいります。加えて税理士、弁護士など他の専門家の協力を得て、より高度な個々のニーズに合った方向へ進むべきなのか、現在、検討中です。来月より「新コーナー」を設けます。乞うご期待！

## 東京都では平成16年度も固定資産税・都市計画税を減免します。

これは、平成14年度から実施されている制度で、今回も引き続き実施されることになりました。対象となるのは、東京23区内の小規模非住宅用地(商業ビルや店舗の敷地、駐車場など)で一画地における非住宅用地の面積が400㎡以下であるもののうち、200㎡までの部分を所有されている、個人、資本金または出資金が1億円以下の法人、資本または出資を有しない法人で、減免の割合は2割です。

この減免を受けるためには申請が必要になりますが、平成15年度に減免を受けられている方で引き続き平成16年度も減免を希望される場合は、新たに申請する必要はありません。

減免されているか確認するには、東京都の主税局から送られてくる納税通知書に添付されている「課税明細書」の適用欄に「非住宅用地減免」と表示されているかで確認下さい。

減免税額は、摘要欄の左隣にある「減免税額(固・都)」欄に記載されています。

新たに減免をご希望の方、減免についての質問がございましたら管轄の都税事務所までお問い合わせ下さい。

## 難しい工事を施行できる技能者を探している時は優秀施工者(建設マスター)へ

これは、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している建設技能者の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成などに多大な貢献をしている方を国土交通大臣が表彰することにより、「ものづくり」に携わる方の誇りと意欲を増進させるとともに、その社会的評価の向上を図ることを目的として、平成4年度(建設省の頃)より実施しているものです。顕彰の対象は、建設産業において工事施工に直接従事している個人で、現役として活躍している建設技能者のうち、技能・技術が優秀であること 工事施工の合理化等に貢献していること 後進の指導育成に努めていること 安全・衛生の向上に貢献していること 他の建設現場従事者の模範となっていること。以上5つの基準を満たしている方です。これらの基準を満たしており、建設業者団体、都道府県及び国土交通省北海道開発局並びに地方整備局から推薦を受けた方について、優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会において審査・選考され顕彰者が決定されます。

この建設マスターについては、国土交通省 建設マスター事務局 TEL03 - 5253 - 8111 (内線 24825 ~ 6) または、<http://www.yoi-kensetsu.com>で問い合わせ、検索することができます。

(佐藤)

### シリーズ 建設業Q & A

Q: 経營業務の管理責任者の要件として、許可を受けていた会社の取締役または個人事業主等の経験年数が5年の場合と7年の場合があるとのことですが、その違いについて教えてください。

A: 基本的には、許可を受けようとする業種と同一の許可を有していた業者での経験であれば5年、それ以外の許可業種での経験であれば7年となります。

(例1) 許可を受けようとする業種: 建築工事業・内装仕上工事業

過去に取締役経験のある会社の許可業種: 建築工事業・内装仕上工事業 取締役経験年数 = 5年

(例2) 許可を受けようとする業種: 建築工事業

過去に取締役経験のある会社の許可業種: 内装仕上工事業のみ

取締役経験年数 = 7年(建築工事業については経験年数ないため)

(例3) 許可を受けようとする業種: 建築工事業・内装仕上工事業の両方

過去に取締役経験のある会社の許可業種: 内装仕上工事業のみ

取締役経験年数 = 7年(建築工事業については経験年数ないため)

(中山)

### 梅雨時の湿気対策!

日本は高温多湿。梅雨から夏にかけて、カビやダニが発生しやすい季節です。風通しの良かった木造住宅に変わり、密閉性が高い住まいが増えたおかげで、人間だけでなくカビやダニにとっても居心地が良くなっているようです。

カビは、特に温度28度、湿度が70%前後になると繁殖が活発になります。栄養源は食べ物や人間のアカ、石鹸のカスといった有機性のものばかりではなく、畳や布、電子部品や接着剤も原因になります。カビの弱点は、温度が10度以下になると発育が鈍くなることです。しかし冷蔵庫の中ですら扉の開閉が激しい夏は繁殖するので注意が必要です。

ダニには、アレルギーの原因になるものや、かゆみを起こすものがあります。フケやアカがあって、気温が25度前後、湿度が60~80%になると繁殖します。好みの環境はカビとほぼ同じです。ダニの弱点は、温度が20度以下で活動が鈍り、逆に35度以上になると育成できないことです。また湿度が55%以下になるとグンと死亡率が高くなります。

【カビ取りの方法】

カビは表面をこすったり、ふくだけでは、再び発生してしまいます。カビは菌なので、掃除というより消毒をすることが必要です。

1. カビを旧タイプの掃除機で吸い取らない!
2. カビの上に普通の塗料を塗ってごまかさな!
3. タイプの違うカビ取り洗剤を同時に使わない! (星野)